

甲賀市内にすむ
絶滅が心配される動植物や
それらを育む大切な
自然についての連載です

湿地の花・
トキシソウ



トキシソウ

日当たりの良い湿地の草原に生えるランの一種です。高さ20～30センチ、茎の中ほどに細長い一枚の葉をつけます。初夏、茎の先に、横向きに淡紅色の花を一個咲かせます。花の色が、日本では絶滅した鳥、トキ（朱鷺）の羽の色を思わせることから、この名がつけました。

日本全国の身近な湿地に咲く美しい花として親しまれてきましたが、湿地の開発と、園芸用の採集により、近年、非常に少なくなりました。環境庁（現・環境省）の「維管束植物レッドデータブック」（2002年度版）に絶滅が心配される植物として、また「滋賀県の大切にしたい野生生物」（2000年度版）にも希少種として掲載されています。

甲賀市では、山間の湿地と休耕田の水路の側で自生が確認されています。

湿地は、酸性で栄養分が少なく、植物が育つには条件のよくない土壌ですが、湿地にしか生えない植物があります。甲賀市内には、他に、サギソウ、ミズトンボ、イシモチソウなど全国的に激減している湿地性植物の自生が確認されています。

かつては、身近な自然に生きていた鳥、トキは絶滅しましたが、その名をもらったトキシソウは大切に見守りたいものです。生き物を見守ることは、その生きている場所を確保することにつながるのです。

みなくち子どもの森自然館
☎ 63-6712 FAX 63-0466

7月の
休園日

3(月)、10(月)、
11(火)、18(火)、
24(月)、31(月)

甲賀市文化協会連合会文芸欄

今回は、水口町文化協会からお寄せいただきました。

- ・ 朝もやを破るがごとく甲高き一声のこし雉子たちてゆく 伴 その
- ・ 病院に向かう車窓は桜花ざかり見渡す限りに春を謳歌す 福田 和子
- ・ 五月晴れに蛙ぬりすれば蛙たち声をそろえてはげますごとく 殿城 清子
- ・ 「ゴーヤの旦とかかげ並べる売場あり我が誕生日一つを購う(五月八日) 廣瀬 美津子
- ・ 整骨院でんき治療にうつろして癒さる気持は小さな幸せ 大平 美恵乃
- ・ 睡蓮の植木鉢並ぶ陶器市にいと愛らしき金魚購う 富田 満枝
- ・ 登校の友等と共に曾孫は元氣二年となりて家の宝なり 川嶋 好枝
- ・ 引き上げの埠頭に立てば戦争の悲惨さ想えて胸のいためる 田中 のぶ子
- ・ 花柄の手袋にかえ外に出るべダル踏みゆく野の風すがし 田代 伸子
- ・ さ庭辺を彩る馬酔木はなやかに賜ひし彼のおもかげ偲ぶ 上村 利代
- ・ 里山に辛夷の花の咲き盛りて亡父の笑顔の顕ちてくる朝 徳地 喜代子
- ・ 覚えぬし事も忘るる齢となり知恵づく幼を時におそるる 笈 道子
- ・ 沖繩へ旅せし外孫は手土産に祖父の好みし酒をもちくる 山田 静枝
- ・ 去年の秋鴨と憩いし不忍池の辺に矢が刺さる二羽ニュースで知りし 太田 紀久子
- ・ 口すすぐ清水の冷たさ心地よく身のひきしまる花冷えの朝 奥山 孝子

次号(8月1日号)は、信楽町文化協会の予定です。